

図書便り（号外）

第14回読書会開催

令和3年3月15日号

3月10日（水）に図書委員会主催の第14回読書会が開催されました。図書委員12名で「100万回生きたねこ」をテキストにし、「生きること」「自分にとって大切なもの」とは何かについて考えました。

以下は参加者の声です

心に残った場面は？

白いねこが動かなくなって主人公のねこが100万回も鳴いていたところ。

白いねこが動かなくなって、それまでは泣いたことのないねこが、100万回も泣いたところ。

白いねこが亡くなった後、主人公のねこが白いねこを抱えて泣いたとき。



テキストは
「100万回生きたねこ」
佐野洋子 作・絵
でした。



白いねこと夫婦になって子ねこが生まれ、それまでは死ぬのが平気だったねこが、白いねこと一緒にいつまでも生きていたいと思うようになったところ。

白いねこが亡くなった後、その主人公のねこが死んで、今度は生き返らなくなってしまうところが心に残った。

最後に主人公のねこが生き返らなかったのはなぜ？

愛していた白いねこがいなくなったことで自分の気持ちが変化し、生きようと思わなくなったから。

白いねこと一緒になら、生き返らなくてもよいと思ったから。



白いねこが好きだったので天国でも白いねこと一緒にいたかったから。

100万回も泣いたから。

自分よりも好きなものができたから

白いねこと出会い、生きる意味を見つけ出したから



～感想～



- ♥一度きりの自分の人生をむだにせず生きるべきだと思いました。
- ♥みんなの意見が聞けたし、みんながいいと思った場面は似ていることが多いと思いました。
- ♥自分も猫を飼っているの、今までよりももっと大切に育てていきたいと思いました。
- ♥一冊の本についてこんなに考えたことがなかったので良かったです。良い機会でした。何かを好きになるのは素晴らしいと思いました。
- ♥この本は小さい頃よく読んでいて好きな本だったので、今回読めて良かったです。
- ♥ねこは自分がいろいろな人に愛されていることに気づいていなかったのだろうけれど、白いねこを愛したことで、みんなが泣いていた理由、自分が泣いた理由が分かったんじゃないかと思いました。
- ♥ずっと一緒にいたいと思う相手に会うことが良かったと思いました。
- ♥初めて好きなことを見つけて死んでしまった（生き返らなくなった）ところに感動しました。
- ♥主人公が100万回も生きてきて、自分よりも大切なものができ、大好きな相手といつまでも一緒にいたいと思ったところを読んで、自分もそんな人を見つけたいと思った。
- ♥100万回も生きていろんなことやいろんな人に会って愛されることで、自分も愛することで愛されるということが分かるような本でした。
- ♥これからの人生のことを考えさせられるような話だった。
- ♥動物を大切にしようと思いました。

図書委員の皆さん、お疲れさまでした！

